



平成 26 年 10 月 9 日

各 位

上場会社名 株式会社 魚 喜
代 表 者 代表取締役社長 有吉 喜文
(コード番号 2683)
問合せ先責任者 経理部長 堀 弘之
電話番号 0466-45-9282

第 2 四半期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、平成 26 年 4 月 14 日に公表した平成 27 年 2 月期第 2 四半期（累計）の業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

平成 27 年 2 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 26 年 3 月 1 日～平成 26 年 8 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1 株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,500	41	41	2	0.78
今回修正予想 (B)	6,534	34	30	9	3.55
増減額 (B-A)	34	△7	△11	7	
増減率 (%)	0.5	△17.1	△26.8	350.0	
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 26 年 2 月期第 2 四半期)	6,810	8	2	△26	△10.57

2. 修正の理由

当第 2 四半期連結累計期間におきまして、景気は緩やかな回復基調にありますが、当社グループが事業の主体をおく水産小売業界においては、食の安心・安全に対する関心が一層高まるとともに節約志向・低価格志向がいまだに根強く続いております。他方、水産資源の枯渇や異常気象などによる漁獲量の減少に加えて世界的規模の需要増や円安により、魚介類の仕入価格は依然として上昇傾向にあります。この消費性向と仕入環境により当社グループを取り巻く経営環境は引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような環境において、当社は収益改善を図るべく、お客様のニーズを満足させる付加価値の高い商品を開発し、その新商品を中心とした商品 MD の導入やお客様が見やすい買いやすい魅力ある売場づくりなど、既存店の強化を最優先事項として実施してまいりました。また、利益確保が見込める優良物件への新規出店及び不採算店舗等の撤退をいたしました。経費面では仕入効率化による原価率の低減、従業員 1 人当たりの生産性向上のための要員見直し等を実施し、人件費及び諸経費の削減を積極的に推進いたしました。

その結果、売上高は概ね当初予想どおりとなり、営業利益及び経常利益は、当初予想には達しないものの前期第 2 四半期実績を大きく上回る見通しとなりました。

また、特別損失の発生が僅少であったことなどから四半期純利益は当初予想を大きく上回る見通しとなりましたので、上記のとおり修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、水産小売業界において上述の通り経営環境を見通し難い要素が存在することから、業績が見通せる状況になり次第お知らせいたします。

※平成 25 年 9 月 1 日付で普通株式 5 株を 1 株の割合で併合しておりますが、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1 株当たり四半期純利益を算定しております。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいております。実際の業績は、様々な要因により予想数値と異なる場合があります。

以上